

# 視線処理には

## 発達的に異なるシステムがある

### ——心の理論に対する意義

### 日時

### Dr. Martin Doherty

(マーティン・ドハティ博士)

2019年 **7月16日** (火)

[University of East Anglia]

18:00~19:00

### 場所

島根県立大学松江キャンパス  
マルチメディア演習室

### 【講演概要】

乳幼児は視線を追従することはできますが、視線の明示的な判断についてはおおむね3歳にならなければ出現しません。

本講演では、これらの2つの現象が系統発生的・発達的に異なるシステムによるものであることを、霊長類やヒト乳幼児における視線処理のエビデンスを提示しながら概説し、心の理論と関連づけながら論じられます。

ご参加いただければ幸いです。どうぞお気軽にご来聴ください。

◆参加費無料◆

◆申し込み方法◆

7/15までに下記のURLまたはQRコードにアクセスしてお申し込みください。

<https://bit.ly/2JyPP2p>



\* **当日参加も可能**です。

### 【講演者紹介】 Dr. Martin Doherty

英国のイースト・アングリア大学 (University of East Anglia) のMartin Doherty博士は、ヒト乳幼児をはじめ、子どもを対象とした視線追従、視線理解の発達、心の理論についての論文を数多く発表されております。代表的な著書にTheory of Mind: How Children Understand Others' Thoughts and Feelings (2009) 等があります。

